

清水山憩いの森

森野かずみ



カタクリ



アマナ

暖冬の後には大寒波となり、花の開花も園芸植物を中心に右往左往しているようです。東京でのソメイヨシノの開花予想は例年とほぼ変わらないようですが、春先に花を咲かせる「スプリング・エフメラル（春の妖精）」の見頃はやや早めになるのでしょうか？

練馬区内を流れる白子川流域の斜面林に「清水山憩いの森」があります。ここは昭和51年から練馬区が管理を始めたカタクリの自生地で、ボランティアの方々の活動により保存管理され、花の頃にはガイドもされています。ちなみに昨年の見頃は3月30日から5日間程度でした。

カタクリはユリ科カタクリ属の多年草で花茎の長さは10センチ前後、花色は薄い紫から桃色です。花被片は6枚、おしべは長短3個ずつあり、葯は暗い紫色。めしべは1個、花茎の下にある葉は普通2枚で長い楕円形。暗紫色の模様が見えます。

この斜面林では、同じ頃に花を咲かせるアマナの観察もできます。アマナはユリ科アマナ属の多年草で、見た目は小さいチューリップのようです。花茎は15センチ前後、花色は白色で裏面に紫の筋があります。おしべは6個、めしべは1個で、葯は黄色。葉は線形で中央がくぼんだU字型、色は緑で粉っぽく見えます。

両種とも晴れた日には花がよく開きますが、曇りの日は閉じていることが多いのでご注意ください。

昔の片栗粉はカタクリから取れるデンプンでしたが、最近ではジャガイモのデンプンです。時代の変化を思いながら散歩をお続けください。

※ Kacceeのホームページでカラー写真をご覧いただけます。